



長野市議会

新友会だより



ごあいさつ



新友会 会長
三井 経光

残暑の頃となりましたが、いまだに厳しい暑さが続いております。皆様におかれましてはますますご清祥の段、心よりお慶び申し上げます。

皆様方には、日頃より新友会の活動に対しまして、格別のご指導ご支援を賜り誠にありがとうございます。新型コロナウイルス感染症も、5月8日より感染症法上の分類が5類に変更となりました。今後は基本的な感染症対策を継続しながら、社会経済活動の本格的な回復と拡大を推し進めていかなければなりません。

私ども新友会の議員18名はこれからも一丸となって、まちの賑わい創出や市民が暮らしやすさを実感できるよう、予算要望の実現に向けて全力で取り組んで参ります。引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

新友会 会長 三井 経光

新友会活動報告

「国への要望活動」を行いました

2月に引き続き、6月5日に国に重点施策を要望するため、新友会18名の全議員が上京して参りました。

参加議員18名は2班に分かれ、1班は国土交通省・農林水産省に若林健太代議士が同行、2班は文部科学省・文化庁に務台俊介代議士に同行していただき、要望活動を行いました。

今回の要望内容は下記の通りです。

国土交通省

- 都市計画道路（山王小柴見線、川中島幹線、七瀬居町線）の整備に対する支援（社会資本総合整備事業）
- 一般国道18号長野東バイパスの立体化整備の促進
- 「防災・減災・国道強靱化のための5か年加速化対策」の更なる推進

農林水産省

- 中山間地域に特化したスマート農業機械開発への支援の充実

文部科学省

- 不登校児童生徒が学校以外の場において行う学習活動に対する負担軽減のための経済的支援
- 部活動の地域移行に伴う地域の文化・スポーツ活動の環境整備について

文化庁

- 史跡等保存整備事業費の拡充について（松代城跡、大室古墳群等）



文化庁への要望(京都文化庁担当課オンライン参加)



農林水産省への要望

「新友会政策モニター研修会」を開催しました

6月24日に新友会モニター研修会を開催しました。当日は49名のモニターにご参加いただき、加藤久雄前長野市長に「危機こそトップの出番」～長野市に“元気玉”を～と題して講演いただきました。

講演の中で、市長になる動機や就任直後の市役所職員の意識改革や、その後の令和元年東日本台風発災直後から復旧・復興までのお話をいただきました。トップが決断を下す勇気と大切さを知り、会場中が息をのむとともに、皆様それぞれが当時を思い起こしながら前市長の話に聞き入っていました。

その後の質疑応答では、3名のモニターから前市長に謝意や激励、今後の長野市についてなどの発言があり、前市長にお答えいただきました。

最後に、在任中にいつも長野市を元気づけてきた“元気玉”を、会場中に響きわたらせ、参加者に元気と笑顔を届けていただきました。

その後、新友会議員18名とモニターの皆様が、9つのテーブルに分かれ意見交換を行いました。笑顔で意見を交わしたり、真剣に議論したりと、地域の課題について活発な意見、要望、提言があり、大変有意義な時間であったと思います。

ご参加いただいたモニターの皆様に感謝申し上げますと同時に、会派として今後もしっかりと長野市発展のために活かして参ります。



講演会の様子

プロフィール

1942年(昭和17年) 生まれ
1985年(昭和60年) 株式会社本久代表取締役社長
2007年(平成19年) 長野商工会議所会頭
長野県商工会議所連合会会長
2009年(平成21年) 株式会社本久ホールディングス代表取締役会長兼社長
2013年(平成25年) 11月11日 長野市長就任
2021年(令和3年) 11月10日 長野市長退任
在任期間2期8年



講師：加藤 久雄氏

新友会は、市民の皆さまのご意見をお待ちしております。ご遠慮なく、下記にご連絡ください。

●発行所：長野市議会 新友会 〒380-8512 長野市大字鶴賀緑町1613番地 長野市役所第一庁舎 7F

●発行責任者：三井 経光 TEL.026-226-4911 (内線 3931) FAX.026-229-6386

ホームページ：<https://shinyukai-nagano.com/> E-mail：shinyu@mx1.avis.ne.jp

長野市議会 新友会 🔍検索



令和5年度 市への予算要望に対する新友会議員の着目課題



三井 経光議員 「犬の散歩ができる公園の 拡充について」

今年度、城山公園と南長野運動公園の一部について、犬の散歩が可能となるよう関係者との協議が開始されました。県外や他の地域から善光寺への参拝後、愛犬と城山公園の中も散歩ができるようになる事に非常に期待するところです。ふんも各自がしっかりと片付けて綺麗な公園とする事で、軽井沢と同様に多くの観光客が訪れる観光地になります。



小林 義直議員 「無災害の安全安心なまちを 目指して」

災害続きの4年間から「安全・安心なまちづくり」を一番に、心配されている裾花川の斜面崩落から善光寺平を守り、都市型水害対策である「雨水幹線の建設」や防災拠点（市役所本庁）へ大型車両が向える「JR七瀬踏切と市道の拡幅整備」を進めます。また、線状降水帯の発生による水害や、感染症に対応できる「新たな生活様式」の創出に努めます。



寺沢 さゆり議員 「こどもの福祉医療費の対象 範囲拡大」

こどもの福祉医療費の対象範囲を18歳年度末まで拡大すると共に今後窓口無料化についても検討していくよう要望しています。他には高齢者への地域密着型サービス、障害者への地域生活支援事業の充実をはじめ新型コロナウイルス感染症、引きこもり、ヤングケアラー、虐待、貧困など当事者に寄り添った相談支援体制の更なる充実等を要望しています。



宮崎 治夫議員 「元気な街づくりのために お聞きします。考えます。 そして進めます」

安らぎのあるまちづくり＝お年寄りの「ここでゆっくり暮らし続けたい」を支えます。お子さんの夢と希望「思いっきり遊びたい」を応援します。暮らしをまもるまちづくり＝農家と農業を支援します。元気で魅力的なまちづくり＝地元スポーツチーム・駅伝ランナーを応援します。



小泉 栄正議員 「安心して暮らせる地域で あり続けるために」

市街地でも中山間地域でも、地域ごと居住条件が違い抱える課題も違います。「地域が地域らしく」「地域の特性を活かし」「地域に住み続けられるため」安全で安心して暮らせる地域づくりが必要です。それぞれの地域課題に沿った施策・支援の確立に取り組めます。



西沢 利一議員 「県都に活力を 中山間地に 光を」

夢ある町、心豊かな地方都市の実現のため、中山間地域の再生を念頭に、先人の築いた地域文化、豊かな自然環境を守り、モデル的
地方都市の構築と、地域防災の強化を図ります。政治経済の連携により活力ある市政を推進し、若い人の就業と企業の支援で、経済の活性化と地場産品の推奨とブランド化を進めます。



松田 光平議員 「力強い経済と、便利で快適 な長野市」

令和元年の台風災害と、コロナ禍で疲弊した経済を回復する為、農業を含む全ての産業を振興し、加えて新産業を創造し、元気な企業が増える事で若い世代の移住が増加し、魅力溢れる長野を作ります。デジタル化社会の現在、システムエンジニアの経験を生かして、全ての市民が便利で快適に生活できる仕組み作りを目指します。



若林 祥議員 「市民ニーズに的確・迅速に 対応出来る簡素で効率的な 行政組織に」

市民との協働や住民自治を進める中で、人口減少に伴う職員の減少を見据え、情報システムの標準化や事務のペーパーレス化、テレワークなど、行政DXを着実に推進し、事務の効率化と行政サービスが維持出来る効率的な組織にすることが必要です。



市川 和彦議員 「長野市政への想い」

利便性・効率化の為にチャットGPTの活用推進、中心市街地・産業用地開発による経済活性化、大豆島小学校教育環境整備、幼保支援・子育て家庭支援充実のため長野市独自の幼保職員の人員配置加算の実現、介護士確保による高齢者対策の充実、消防団体制の更なる構築、定年延長を迎える消防職員の人材活用等々による安全安心な長野市を目指します。



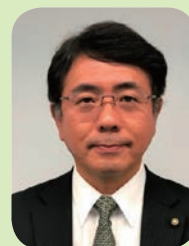
北澤 哲也議員 「公共性の高いものから優先 して」

お住まいの地域ごとに諸課題が様々なのは重々承知していますが、議員とは長野市全体で公正な判断が求められます。意見を聞きながら、市民全体に影響のあるものから優先して事業を行っていくことが大切と考えます。例えば防災対策や教育環境の整備・充実はこのからの社会形成の中で重要視していかなければならないものでしょう。



手塚 秀樹議員 「豊かな長野市を目指して」

身近な道路補修などインフラ整備はもちろん将来の長野市を支える地域人材の育成等が進む予算としました。人口が減少する中でも、行政サービスを維持し豊かな社会を築いていけるか大事な時期だと思います。長野市はそれが実現できるまちであると信じています。



金沢 敦志議員 「少子化対策は高齢化対策」

歴史的な出生数の減少で危機的にある少子化、そして少子化の結果として起こる高齢化、その対策はまったなしです。普通に結婚し、こどもを産んで育てられる環境を、地方行政としても積極的に構築せねばなりません。子育て支援として幼保・こども園への助成、放課後子ども総合プランの充実、不登校対策等、切れ目のない施策の実行が必要です。



和田 一成議員 「安心・安全で暮らせる地域 とまちづくり」

自主防災組織と消防団の連携強化、団員確保に行政の支援が必要です。地域内の医療や福祉、介護、買い物対策には、中山間地域の移動手段の確保が必須です。移住・定住支援と空き家対策を進め、若者やこどもの住みやすい環境づくり、高齢者が安心できるような地域コミュニティの充実のため、住民自治協議会への支援の充実を求めています。



桜井 篤議員 「子どもたちの健やかな成長 と子育て支援」

次世代を担う子どもたちが健やかに育つための環境づくりを推進し、子どもたちの成長や将来が、その家庭の経済事情等に影響されることなく、全ての子どもたちが夢と希望を持って成長していけるよう、支援を必要とする子どもたちや、その家庭に対して教育、生活、経済等の総合的な支援を行うよう求めています。



青木 敏明議員 「令和元年東日本台風災害 からの着実な復興」

令和元年東日本台風災害から4年目を迎え、未だ被災した豊野地区や長沼地区で被災家屋解体後の空き地が目立ち復興途上である事から、地域コミュニティの再生支援の為、固定資産税、都市計画税の減免の継続と、他地域から被災地域への移住に対し補助金制度創設を強く要望し、実現しました。引き続き災害からの復興に取り組んで参ります。



加藤 英夫議員 「郊外地・中山間地域活性化、 持続可能な農業政策」

人口減少著しい郊外地の賑わい創出や不便解消、移住や公共交通、インフラ等の整備・存続を推進、安心して住み続けられる地域づくりと郊外地の活性化を目指します。異常気象の影響や後継者不足により、危機的な状況の食料自給率向上と市民の食の安心を図り、持続可能な農業政策の取り組みを強化します。



箱山 正一議員 「長野市独自の政策で稼ぐ 地方都市を目指す！」

ヤマとマチの繋がりこそが長野市の魅力。選ばれる県都になるため長野市の魅力を探し、守り、創っていく。稼ぐ地方都市になるために攻めの予算編成を縦割りではなく部局を横断して政策に挑戦していくよう求めています。議員としては市民がワクワクし、若い世代にも注目していただけるような政策提案をどんどんしていきます。



西脇 かおる議員 「スポーツの力で未来をつ くる！」

スポーツの力で未来の長野市をつくるとする本市のスポーツ振興事業を促進します。スポーツを通じた交流人口の拡大による地域経済の活性化への取り組みを強化し、スポーツの成長産業化・基幹産業化を推し進めて参ります。スポーツを軸としたまちづくりを推進するとともに、市民の健康づくり・フレイル予防事業にも注力して参ります。

新友会議員は、今後も課題解決のために積極的活動を継続して参ります。